

みなへら またで そう 通信 No.13

みなへら通信 第13号 2015年6月15日

ゼロ・ウェイスト宣言のまち、水俣から
ムリなく 楽チンに みんなで ごみへらし
みなまたスタイル情報紙

編集：ゼロ・ウェイスト円卓会議
発行：水俣市環境クリーンセンター

下記の4施設で 容器包装プラ その他紙類 が出せますよ！

★資源の日を待たずに、よく利用する施設でついでに出せて、ますます便利にリサイクル！！

施設の開館時間内で利用できます。

もやい館
(2階受付前)

総合体育館
(1階 階段横)

おれんじ館
(事務所前)

水俣市武道館
(玄関外 左側)

紙類回収箱

※注意してください！
新聞紙、チラシ、ダンボール、雑誌は出せません！

名刺サイズより大きな紙、紙箱

わりばし袋、包装紙など...

菓子箱類、洋服など、紙類

トイレットペーパー、ティッシュなどの紙類

フリンジーなど、紙類

紙袋に入れて出してください。

紙袋はここでもらえます。

プラスチック製 容器包装回収箱

食品トレイ、ペットボトル、カップ類、プラスチック容器類

中身がなくなると見える袋に入れて出してください。レジ袋がオススメ！色付きもOK！

『紙袋ぐ〜るぐるBOX』を設置しました。

ご家庭であまった紙袋は、ここにに入れてください。ほい！はい！自由にお持ち帰りください。紙袋を使うと紙の分別がかんたんですよ！紙袋もぐ〜るぐる。

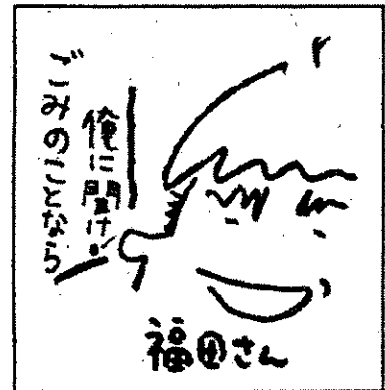
紙袋入れてください。お持ち帰りください。

紙袋の分別に使う紙メーありがとう。

※この事業は公益財団法人水俣市振興公社が、資源ごみ収集と施設管理の事業を実施している利点を活かして、公益事業として行っています。

環境クリーンセンター 福田さんに聞きました。

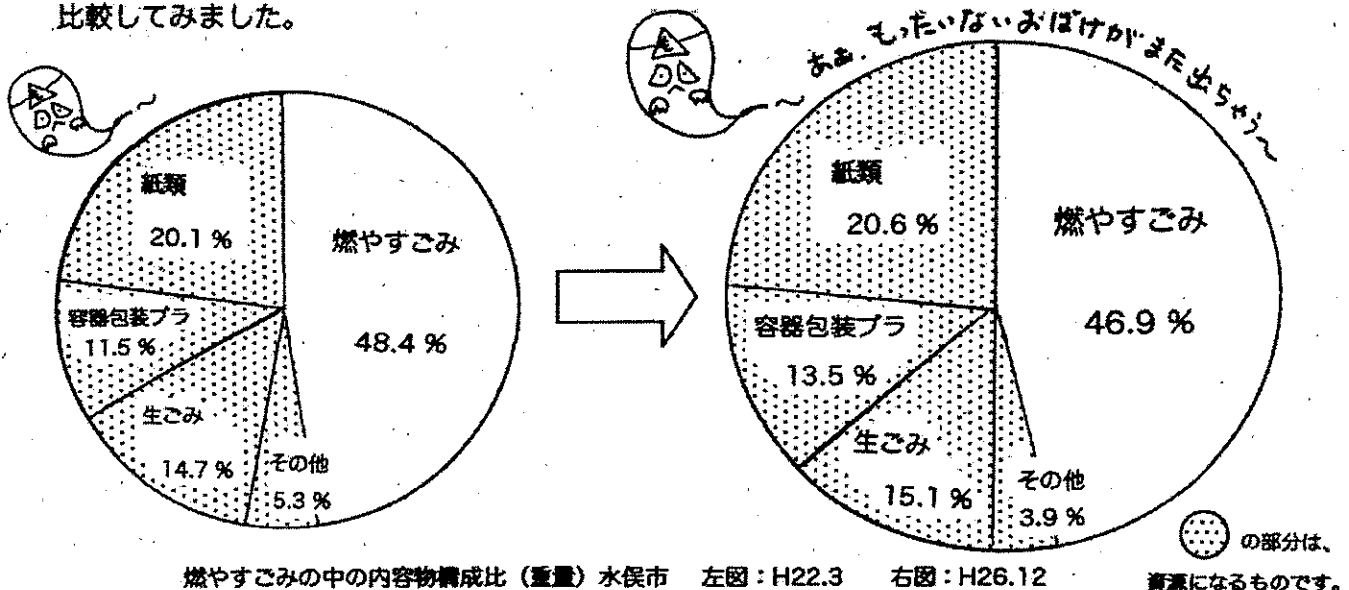
昨年度に燃やすごみの中に混じっていた資源になる紙は約 950 トン。これを分別していたら約 1,800 万円の売却益があったはずですが、灰になってしまいました。さらにごみとして燃やす処理費が、この紙の分だけで約 5,700 万円。あわせて約 7,500 万円の損をしたということになります。



ザンネ

燃やすごみに混じっている「資源になるもの」が増えていました！！

2012 年のみなへら通信第 1 号で取り上げた「燃やすごみの中身を重さで分けると・・・半分以上は資源でした！」から 3 年。水俣市の燃やすごみの中身はどうなったのか、昨年度の調査結果と比較してみました。



残念なことに、燃やすごみに混じっている資源の量が増えてしまっています。しかも、平成 26 年度に、分別して資源として出された紙は約 870 トン。燃やすごみに混じっていた資源になる紙は約 950 トン。なんと資源にするより燃やした方が多かった、ということなのです。

う〜ん、これはもったいない！ 紙を燃やすごみに入れるのは、お金を燃やしてしまうのと一緒にですよ〜。紙袋で簡単分別して、月に 2 回の資源の日か、もやい館などでの拠点回収をどんどん活用したいですね。

減量やたや！みばけに早くなりた〜

「みなへら通信」は、ごみの焼却・埋立に頼らないまちづくりの仕組みを市民・事業者・行政の協働でつくっていくゼロ・ウェイスト円卓会議が発行する情報紙です。バックナンバーは水俣市のホームページからご覧いただけます。

みなへら通信

検索

お問い合わせ：水俣市環境クリーンセンター TEL 62-4101